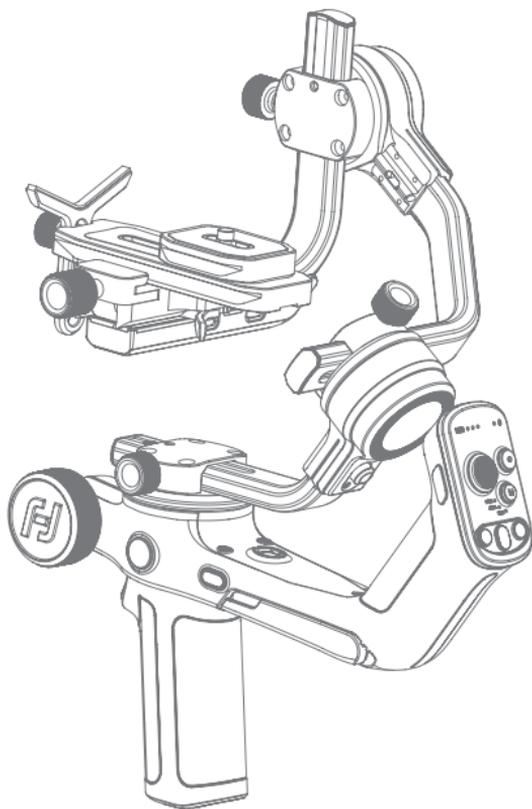




# SCORP-C

Instructions V1.1



Tutorial Videos



# Catalogue

<b>1. Overview</b>	<b>1</b>
<b>2. Getting started</b>	<b>2</b>
2.1 Charging	2
2.2 Adjust the gimbal position to gimbal balancing position	3
2.3 Using support stand	3
<b>3. Mounting the Camera</b>	<b>4</b>
3.1 Attach the quick release plate and camera backing base(Optional)	4
3.2 Install lens holder (Optional)	4
3.3 Mount camera on gimbal	5
<b>4. Gimbal Balancing</b>	<b>6</b>
4.1 Balancing the tilt axis	6
4.2 Balancing the roll axis	7
4.3 Balancing the pan axis	7
4.4 Using the memory slider	8
<b>5. Power ON/ OFF</b>	<b>9</b>
<b>6. Function/Modes introduction</b>	<b>9</b>
6.1 Follow modes introduction	9
6.2 Other function introduction	10
<b>7. App Connecting</b>	<b>11</b>
7.1 Connect with Feiyu SCORP APP	11
7.2 Function introduction of APP	11
<b>8. Operation</b>	<b>14</b>
8.1 Button operation	14
8.2 Indicator	18
8.3 Control ports	18
<b>9. Specifications</b>	<b>19</b>

## はじめに

Feiyu SCORP-Cは、Gujiめにilin Feiyu Technology Incorporated Companyが開発したDSLRおよびミラーレスカメラ用のプロフェッショナルな3軸安定化ハンドヘルドジンバルの製品です。

市場で人気のあるデジタル一眼レフカメラやミラーレスカメラと互換性があります。

Feiyu SCORP-Cはボタンエリア、多機能ノブ、タッチスクリーンで設計されており、片手でフォローモードの切り替え、回転、画像送信送信機、パラメータ設定を制御することができます。

カメラシャッターケーブルを装備し、写真撮影、ビデオ撮影、フォーカシングをハンドルで直接コントロールすることができます。

Feiyu SCORP-Cは、カメラコントロールポート、画像送信ポート、2つの拡張ポートがあり、同時にフォーカスマーターや他の拡張デバイスを接続することができます。

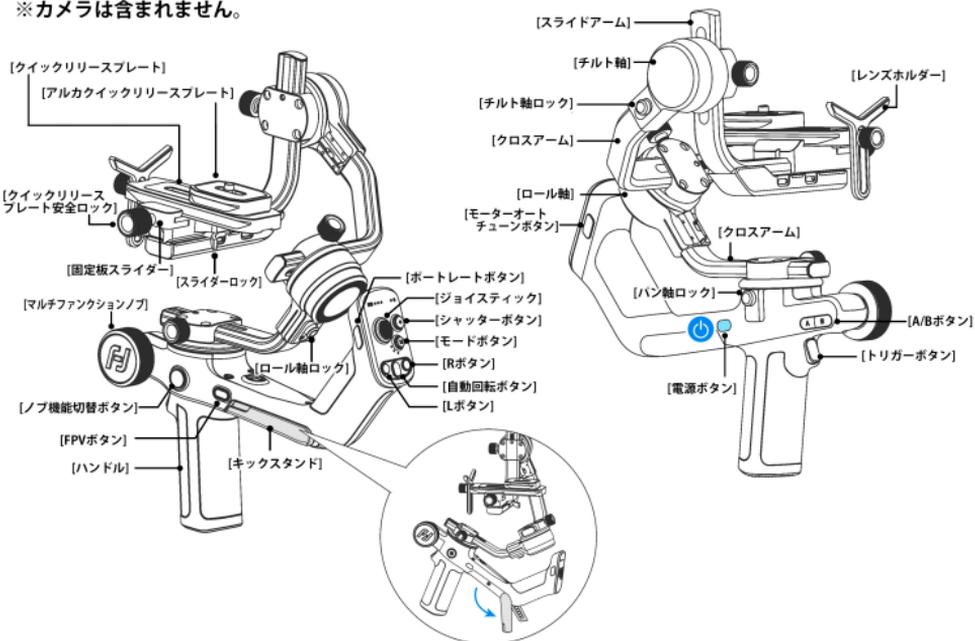
## Tutorial

チュートリアル動画は、FeiyuTech公式サイトまたはQRコードを読み取ってご覧ください。  
<https://www.feiyu-tech.com/play/>



# 1. パーツ及びボタン名称一覧

※カメラは含まれません。



## Appダウンロード

右記 QR コードを読み取るか、App Store か Google Playで"Feiyu SCORP" と検索してください。

\* iOS 9.0以上、Android 6.0以上が必要です。



iOS

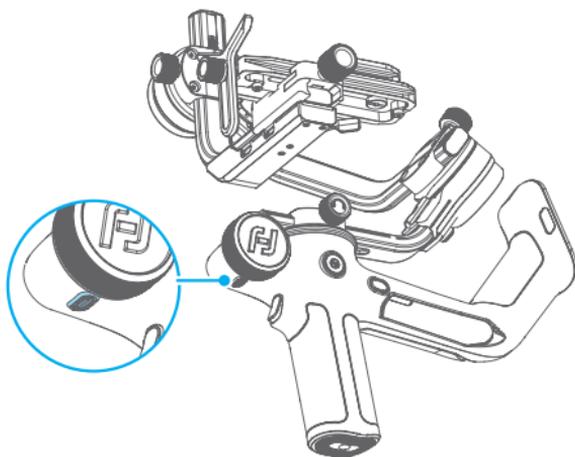


Android

## 2. はじめに

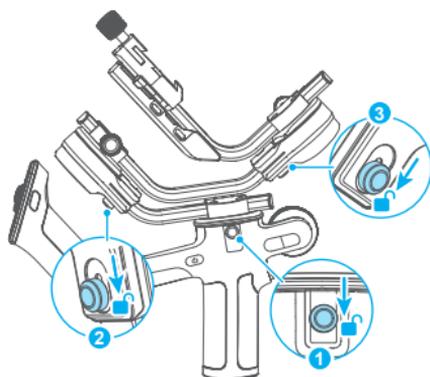
### 2.1 充電

ジンバルを初めて電源オンする前に、バッテリーを完全に充電してください。USB 2.0 to Type-Cケーブルで充電、急速充電に対応。

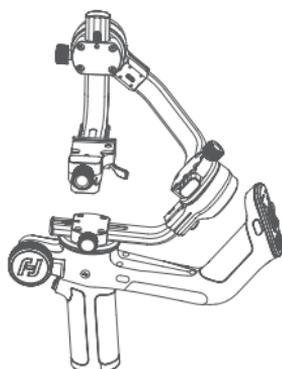


## 2.2 ジンバル位置をジンバルバランスポジションに調整します

ジンバルはデフォルトでは折りたたまれていますので、3軸のロックを解除し、ジンバルバランスポジションに調整してから、3軸をロックしてください。



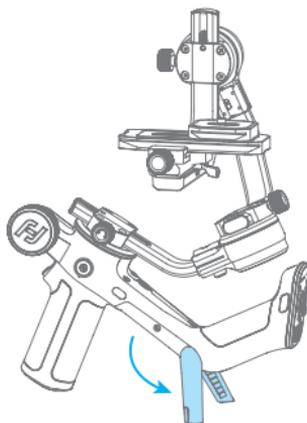
ジンバル折りたたみポジション



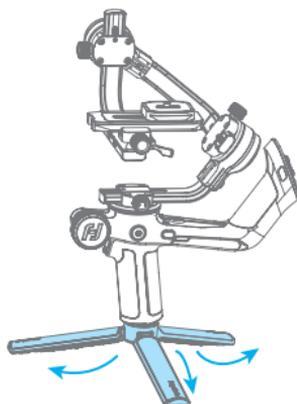
ジンバルバランスポジション

## 2.3 サポートスタンドの使用

内蔵のキックスタンドを広げたり、三脚を取り付けたりして、ジンバルを平らな場所に設置することができます。



内蔵キックスタンドの展開



三脚の展開

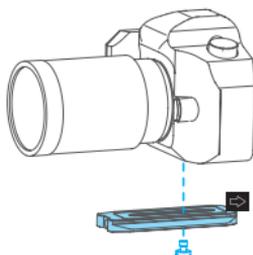
### 3. カメラの取り付け

カメラを取り付ける前に、カメラが撮影可能な状態であること（カメラレンズを取り付け、レンズカバーを外し、メモリーカードとバッテリーをカメラに挿入し、バッテリーが完全に充電されていること）、「2. はじめに」の章で述べたすべての手順を完了し、ジンバルがジンバルバランスポジションに調整されていることを確認します。カメラを取り付ける前に、ジンバルの電源がオフになっているか、スリープモードになっていることを確認してください。

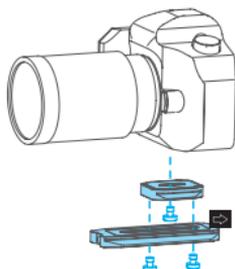
#### 3.1 クイックリリースプレートとカメラバックングベースの取り付け

ネジを締めてクイックリリースプレートをカメラに取り付けてください。

長いレンズや重いレンズを使用する場合など、必要に応じてカメラバックングベースを取り付けることができます。カメラ背面台座をカメラに取り付け、2本のネジを締めてクイックリリースプレートに取り付けます。



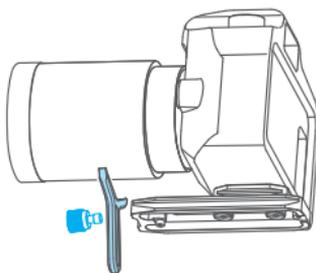
クイックリリースプレートだけの装着



カメラ背面台座と  
クイックリリースプレートでの装着

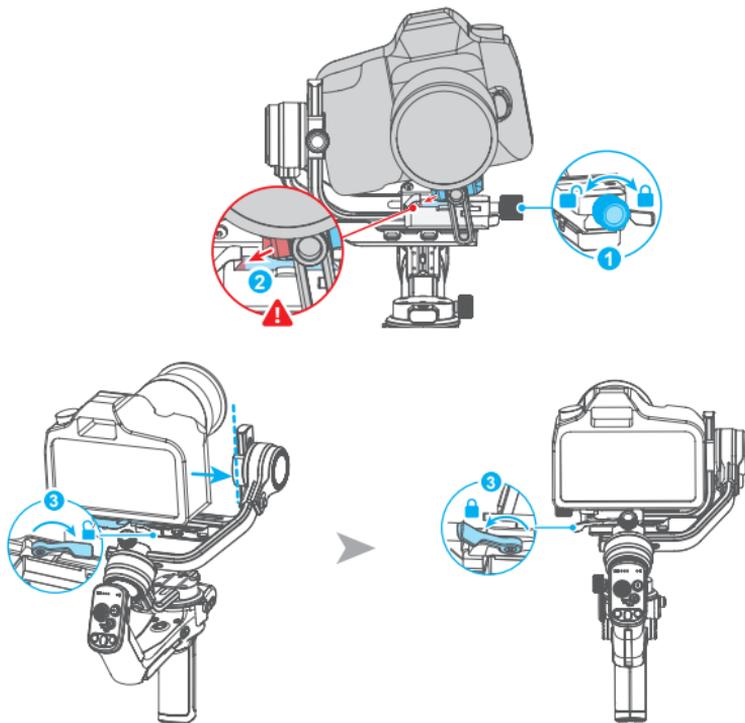
#### 3.2 レンズホルダーの取り付け (オプション)

必要に応じてレンズホルダーをクイックリリース・プレートに取り付けてください。レンズホルダーのゴムは、レンズの真下になければなりません。長い重いレンズを使用するときレンズのホルダーを使用することを推奨します。



### 3.3 ジンバルにカメラを装着する

クイックリリースプレートの安全ロック①を解除し、カメラを取り付けたプレートを②の溝にアイコン方向に取り付け、カメラがほぼバランスしたところで安全ロック①をロックします。このとき、カメラをチルト軸に押し付けるようにするとよいでしょう。スライダロック③を解除して、カメラの幅に合わせてカメラを左右に移動させ、スライダロック③をロックします。



## 4. バランス調整

撮影前にジンバルのバランスを取ってください。カメラとレンズが撮影可能な状態であること、ジンバルの電源が切れているかスリープモードかを確認してからバランスをとってください。

最初にカメラを構え、その後、スライドアーム、クロスアーム、パーティカルアームを動かすことをお勧めします。

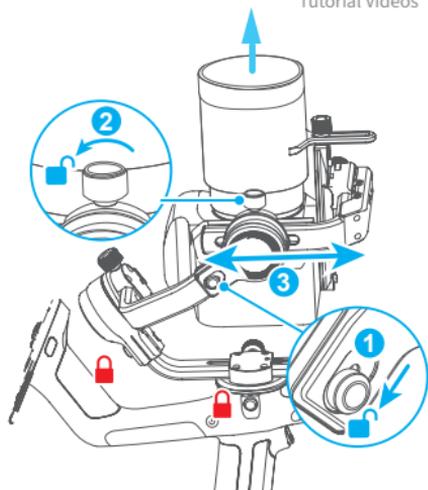


Tutorial Videos

### 4.1 チルト軸のバランス調整

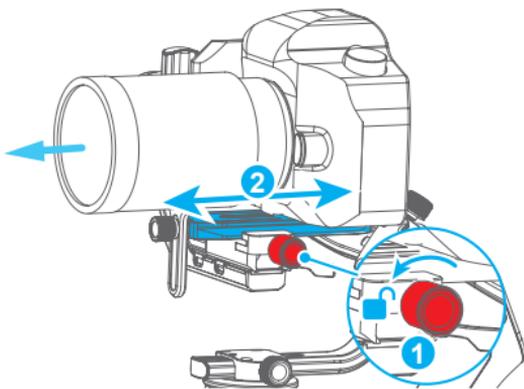
#### 4.1.1 縦方向の傾きのバランスを取る

- チルトロック①を解除し、スライドアームロックノブ②を緩める。
- カメラレンズが上を向くようにチルト軸を回転させる。レンズが傾く方向を確認します。
- レンズが一方に傾き、カメラがその方向に重くなった場合は、スライドアーム③を反対方向に動かし、カメラが上向きに安定するまで動かしてください。
- カメラを持ったまま、スライドアームロックノブ②を締めます。



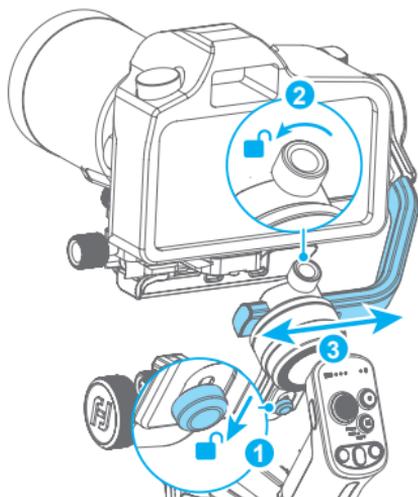
#### 4.1.2 チルト軸の深さ調整

- レンズが正面を向くようにチルト軸を回転させ、レンズが傾く方向を確認します。
- レンズが一方に傾き、カメラがその方向に重くなった場合は、クイックリリースプレートの安全ロック①を解除し、カメラが前方に安定するまでクイックリリースプレートを反対方向に移動してください。
- カメラを持ったまま、クイックリリースプレートの安全ロック①をロックします。カメラを上下に45°傾けた状態で安定させると、チルト軸のバランスがとれます。



## 4.2 ロール軸のバランス調整

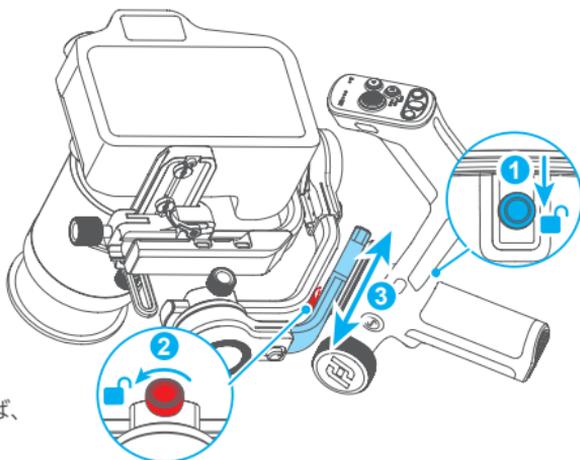
- ロールロック ① を解除し、カメラが傾く方向を確認します。
- カメラが片側に傾いている場合は、その側が重いので、クロスアームロックノブ ② を緩め、カメラが地面と水平に静止できるまで、クロスアームを反対方向に動かします。
- クロスアームロックノブ ② を締めます。



カメラが地面に対して水平に静止することができれば、ロール軸のバランスはとれています

## 4.3 パン軸のバランス調整

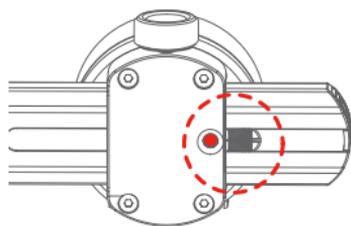
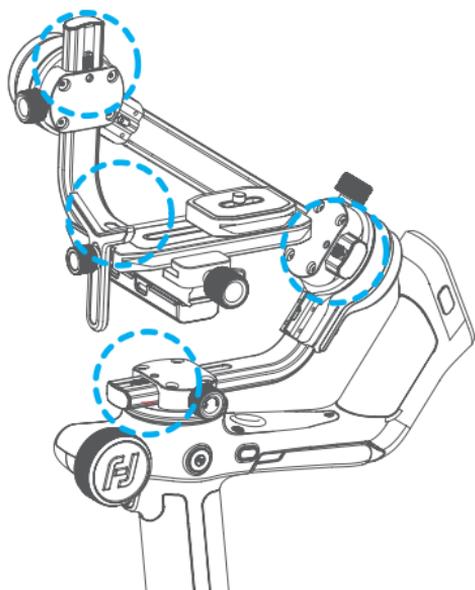
- パン軸ロック ① を解除する。ハンドルを持ち、ジンバルを地面と水平になるまで前方に倒します。
- カメラが片側に傾いている場合は、その側が重いので、垂直アームロックノブ ② を緩めてから、垂直アーム ③ を反対方向に動かす、カメラが地面と水平になるように静止できるようにします。
- 垂直アームロックノブ ② を締めます。



カメラが地面に対して水平に静止できれば、パン軸のバランスはとれています。

#### 4.4 メモリースライダーの使用

Feiyu SCORP-Cにはメモリースライダーが付属しており、バランス調整を容易にすることができます。ジンバルのバランスを取った後、メモリースライダーを軸の穴に移動し、メモリースライダー上の赤い点を穴から露出させ、現在の位置をマークします。次回からは、取り付けるものが同じであれば、赤い点が穴から見える位置に軸を移動させるだけで、ジンバルのバランスをとることができます。



↑ メモリースライダー

← メモリースライダーの位置

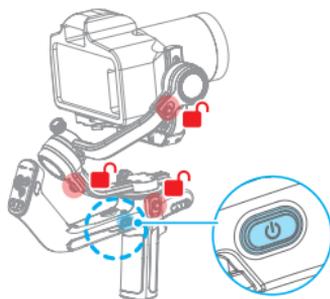
## 5. 電源の ON/ OFF



- (1) ジンバルの電源を入れる前に、ジンバルのバランスをとり、3軸のロックを解除していることを確認します。
- (2) 3軸のロックを解除していない場合、ジンバルはスリープモードに入り、本体を保護します。3軸のロックを解除した後、電源ボタンをシングルタップしてジンバルを起動させてください。

6. 初めてジンバルの電源を入れたときや、新しいカメラやレンズを交換したときは、まずモーター出力を設定してください。

電源ボタンを長押しし、「ピッ」という音がしたら離すと、電源がオン/オフになります。

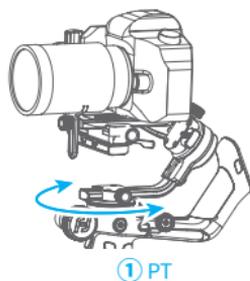


## 6. 機能/モード紹介

### 6.1 フォローモード紹介

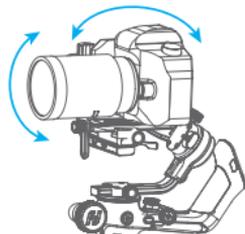
#### ① PF (デフォルトモード)

パンフォローは、パン軸のみがユーザーの手の動きに追従します。



## ② PTF

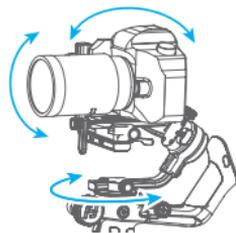
パン軸とチルト軸はユーザーの手の動きに追従するが、ロール軸は追従しません。



② PTF

## ③ FPV

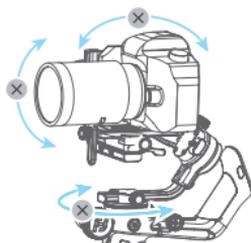
パン、チルト、ロールの3軸がユーザーの手の動きに追従します。



③ FPV

## ④ Lock

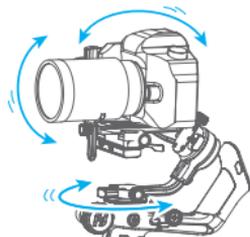
3軸ともユーザーの手の動きには追従せず、ジンバルはカメラの向きを固定します。



④ Lock

## ⑤ FFW

3軸すべてがユーザーの手の動きに高速で追従するフラッシュフォローを行います。



⑤ FFW

## 6.2 その他機能紹介

### 自動回転

ユーザーが設定した回転速度や回転方向に応じて、カメラが自動回転して撮影します。映画『インセプション』で多用された、映像が回転するシーンを実現することができます。

### ポートレートモード

ポートレート撮影やライブストリーミングを行う場合は、ポートレートモードに入ります。

### 自撮りモード

カメラが水平に180°回転し、自撮りが可能です。

### トラックビデオ

設定されたウェイポイントに従ってトラック映像を記録します。

## 手動ロック

カメラを任意の位置に手動で移動し、0.5 秒間保持します。新しいチルト/パン位置は自動的に保存されます。

## 7. アプリとの接続

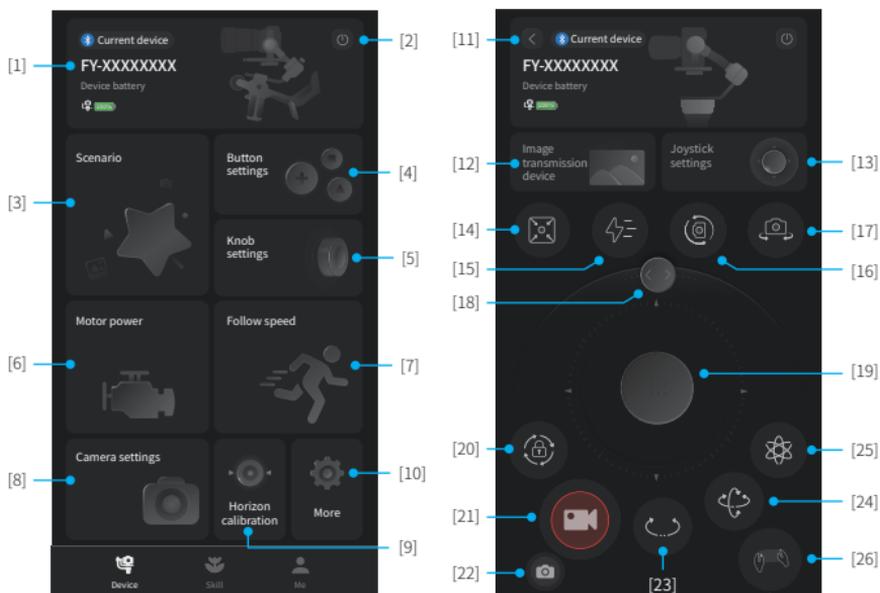
### 7.1 Feiyu SCORP APPと接続する

(1)ジンバルの電源を入れる。

(2)スマートフォンのBluetoothをONにし、Feiyu SCORP APPを起動、ホーム画面の上部をタップしてジンバルを接続します。

接続が成功した後、APPでジンバルを制御するのは簡単です。仮想ジョイスティックでパンとチルト軸の角度を制御し、モードを切り替え、モーターパワー/カメラパラメータ/フォロースピードを設定し、他の機能、パラメータを設定し、ファームウェアを更新します。

### 7.2 APPの機能紹介



## [1] ジンバルコントロールへのアクセス

ジンバル操作インターフェースに入り、仮想ジョイスティックでジンバルを操作し、フォローモードの切り替え、ジンバルの再調整、水平角の手動調整などを行うことができます。

ジンバルに接続されていない場合は、ジンバルに接続するようユーザーに促します。

## [2] デバイスの接続を解除する

タップすると、現在接続している機器を切断することができます。

## [3] 機能・操作方法

自動回転（映画「インセプション」で頻繁に使用された画像回転シーンの実現に使用可能）、パノラマ、タイムラプス（Motionlapse/Static timelapse/Hyperlapse）、トラックビデオおよびその他の使用シナリオをユーザに提供します。

## [4] キー設定

トリガーボタン長押し時の機能を設定します。オートフォーカス時間、A/Bボタンの姿勢変更時間を設定します。

## [5] サムホイール設定

多機能のノブのための制御目的を置いて下さい、制御軸、制御電子焦点、制御焦点モーターとして置くことができます。More "の2つのノブに対して、ダンピング、スピード、スムーズ、サウンド、インジケータライトを設定します。

## [6] モーターの力

チルト、ロール、パン軸のモーター出力を手動で調整するか、オートチューン機能を使用してモーター出力を自動的に調整します（推奨）。



初めてジンバルの電源を入れた後、または新しいカメラやレンズを交換した後は、最初にモーター出力を設定してください。

## [7] トラッキングスピード

プリセットされたジンバルフォロースピードプロファイルを選択できます。低速/中速/高速、またはカスタムフォロースピードとデッドゾーンを選択できます。

## [8] カメラ設定

カメラと接続後、カメラの絞り、シャッタースピード、ISOのパラメータを設定することができます。

## [9] 水平補正

オートキャリブレーション機能（推奨）でジンバルをキャリブレーションするか、手で調整します（FPVまたはFFWモードでない場合）。

## [10] もっと多くの設定

ブートサイレント設定、セルフイー無効化、マニュアルロック、ファームウェア情報の確認とファームウェアのアップデート、初期設定への復元。

## [11] 戻る

タップすると、ホーム画面に戻ります。

## [12] 画像伝送装置との接続

タップして画像伝送装置を接続します。

## [13] ジョイスティック設定

パン軸/チルト軸を制御するジョイスティックの速度と、ジョイスティックをパン軸/チルト軸として反転させる速度を設定することができます。

## [14] 再調整

タップするとジンバルが再調整されます。

## [15] フラッシュフォロー(FFW)

タップしてフラッシュフォローに入る。

## [16] ポートレートモード

タップでポートレートモードに入ります。

## [17] 自撮りモード

タップで自撮りモードに入ります。

## [18] 水平方向の角度を調整する

ロール軸を制御するスライダーをスライドさせ、現在の水平角度を調整します。

## [19] バーチャルジョイスティック

バーチャルジョイスティックでパン軸とチルト軸を操作します。

## [20] ロックモード

タップでロックモードに入ります。

## [21] シャッター

タップすると、録画の開始/停止や写真撮影ができます。

## [22] フォト/ビデオモード切替

タップすると、写真/動画モードが切り替わります。

## [23] パンフォロー (PF)

タップすると、パンフォロー (PF) モードになります。

## [24] パン・チルトフォロー (PTF)

タップするとパン・チルトフォロー (PTF)モードになります。

## [25] FPV

タップするとFPVモードになります。

## [26] モーションセンサーモード

タップすると、パン軸とチルト軸を制御してスマートフォンの動きに追従できるモーションセンサーモードになります。モーションセンサーモードでは、追従モードの切り替えはできません。(PF/PTF/FPV/Lock).

# 8. 操作方法

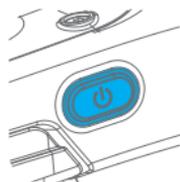
## 8.1 ボタン操作

### 8.1.1 電源ボタン

長押し: 電源 on/off

シングルタップ: ウェイクアップ

ダブルタップ: スリープモードに入る



### 8.1.2 モードボタン

**シングルタップ:** ロック/PF/PTF/FPV/FFWの各モードを切り替える(順番に切り替わる)

**5回タップ:** ホライゾンキャリブレーション(キャリブレーション完了後、シングルタップでウェイクアップ)



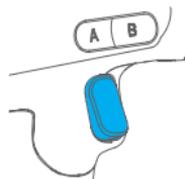
### 8.1.3 トリガーボタン

**ダブルタップ:** 戻る

**トリプルタップ:** 自撮りモード入/切(パン軸180°回転)

**長押しする:** PTF(離すと終了)

アプリから機能をカスタマイズできます。



### 8.1.4 ジョイスティック

**押す:** チルト軸とパン軸の動きを制御します。



### 8.1.5 シャッターボタン\*

**半押し:** フォーカス

**シングルタップ(フル):** 録画の開始/停止

**長押し(フル):** 写真を撮る



### 8.1.6 自動回転ボタン

**シングルタップ:** 自動回転モードに入る

**再度シングルタップ:**

- (1) 自動回転モードを終了する(ジンバル非回転時)
- (2) 回転の一時停止(ジンバル回転時)



### 8.1.7 Lボタン

**シングルタップ:** 左に曲がりし続ける

**再度シングルタップ:** 回転速度の切替 (低速/中速/高速の順で順番に切り替わり、プリセット速度は中速です)

自動回転モード時に有効



### 8.1.8 Rボタン

**シングルタップ:** 右に曲がりし続ける

**再度シングルタップ:** 回転速度の切替 (低速/中速/高速の順で順番に切り替わり、プリセット速度は中速です)

自動回転モード時に有効



### 8.1.9 ポートレートボタン

**ダブルタップ:** ポートレートモード入/切



### 8.1.10 モーター自動補正モード

**長押し5秒:** モーター出力自動補正処理に入る

ジンバルの開始の自動調整モーター力は長いビーブ音、および完了した自動調整の後で長いビーブ音リングを再度鳴らします。



### 8.1.11 FPVボタン

**シングルタップ:** FPVモードの入/切

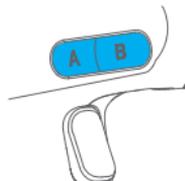


### 8.1.12 A/B ボタン

**長押し:** 現在の位置をA/Bとしてマークする

**シングルタップ:** マークした位置 A/Bに戻る

軸/フォーカス位置のマーク付けに使用できます。



### 8.1.13 ノブ機能切替ボタン

**シングルタップ:**3軸（チルト/パン/ロール）の動きを制御しながら、制御対象を切り替えることができます。

**長押し:**マルチファンクションノブの制御を順番に切り替える（3軸の移動/電子フォーカス/フォーカスモーター）



### 8.1.14 マルチファンクションノブ

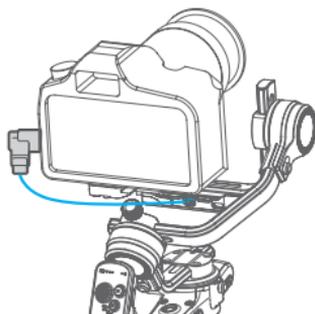
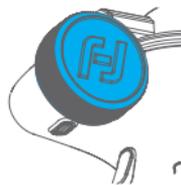
回す:

- (1) ロール軸/チルト軸/パン軸の動きを制御する
- (2) フォーカスを制御
- (3) コントロールフォーカスモーター

(1)または(2)または(3)をノブ機能切替ボタンの長押しまたは

ホーム画面で上方向にスワイプすることでホーム画面で上にスワイプします。

\*カメラとの接続が必要です。下記のカメラ互換性リストを参照してください。: <https://www.feiyu-tech.cn/feiyu-scorp-c/>



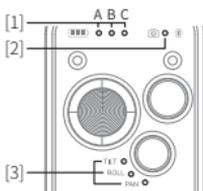
シャッターケーブルでカメラを接続する

## 8.2 インジケータ

[1] バッテリーインジケータA/B/C

[2] カメラ/Bluetoothインジケータ

[3] フォロー状態表示



TILT = チルト軸  
ROLL = ロール軸  
PAN = パン軸

インジケータが点灯している場合、対応する軸がユーザーの手の動きに追従していることを意味します。

### カメラ/Bluetoothインジケータ説明

カメラ接続	Bluetooth接続	インジケータ
√	√	●●●● ●●●●
√	X	●●●● ●●●●
X	√	●
X	X	○

### ステータスインジケータの指示に従う

Mode	フォロー状態表示		
	TILT	ROLL	PAN
Lock	○	○	○
PF	○	○	●
PTF	●	○	●
FPV	●	●	●
FFW	●●●	●●●	●●●
Auto rotation	●	●	●

### バッテリーインジケータ説明

バッテリー残量	バッテリーインジケータ		
	A	B	C
100%	●	●	●
80%	●	●	●
60%	●	●	○
40%	●	●	○
20%	●	○	○
10%	●	○	○
低電力, 自動電源オフ	●	○	○

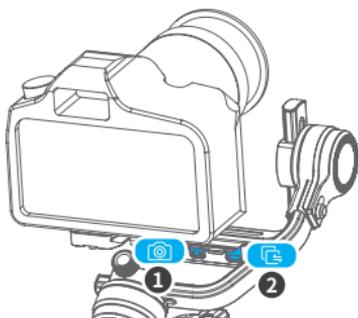
### アイコン:

- / ● / ● / ● 対応する色のランプが点灯
- 消灯
- 青色のランプが早く点滅

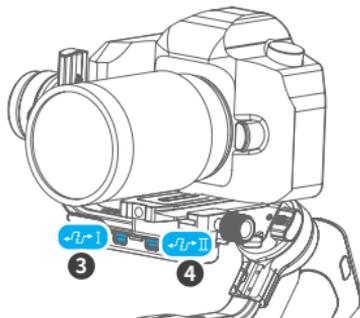
- ●●●● 青色のランプが2回点滅し続ける
- ●●●● 青色のランプが2回点滅したあと、1.5秒間青色に点灯し、繰り返し点灯し続ける。

### 8.3 コントロールポート

固定板には、カメラ制御用ポート、画像伝送用ポート、拡張用ポートが2つあり、フォーカスマーターや他の拡張機器を接続することができます。



- ① カメラコントロールポート
- ② 画像伝送用ポート



- ① 拡張ポート 1/フォーカスマーターポート 1
- ② 拡張ポート 2/フォーカスマーターポート 2

## 9. 仕様

製品名	Feiyu SCORP 3-Axis Camera Handheld Stabilizer
製品モデル	Feiyu F2
最大チルト範囲	+120°~-201°
最大ロール範囲	+215°~-106°
最大パンレンジ	360°
重量	約 1200g
ベイロード	約 2500g (Well-balanced)
バッテリー持続時間	13 時間
バッテリー容量	2500mAh
動作電圧	6.8V-8.4V
対応カメラ	Sony, Canon, Nikon, Panasonic カメラなど。(対応するカメラ、レンズの詳細なマニュアルをダウンロードしてください。)

## 付属品



USB 2.0 to Type-C  
×1



Type-C to Micro(A03)  
×1



Type-C to Type-C (C02)  
×1



Type-C to TRS2.5 (T02)  
×1



Type-C to Multi  
Sony シャッターケーブル  
×1



Type-C to 2.5mm Panasonic  
シャッターケーブル  
(DC2.5mm) ×1



三脚  
×1



クイックリリースプレート  
×1



カメラ背面台座  
×1



レンズホルダー  
×1



レンズホルダーネジ  
×1



カメラ固定用ネジ  
×3

## 注意事項

1. 電源投入時、モータの回転が外力によって妨げられないようにしてください。
2. 防水・防滴マークがない製品は、水やその他の液体に接触させないでください。防水、防滴の製品は、海水や他の腐食性の液体に接触しないでください。
3. 取り外し可能なマークが付いている製品以外は分解しないでください。誤って分解し、異常な動作を引き起こした場合は、それを修理するためにFeiyuTechアフターセールスまたは認定サービスセンターに送信する必要があります。関連する費用はユーザーが負担となります。
4. 長時間の連続運転は、製品の表面温度が上昇することがありますので、注意して操作してください。
5. 製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。製品に異常がある場合は、Feiyuアフターサービスに連絡してください。

## 保管とメンテナンス

1. お子様やペットの手の届かないところに保管してください。
2. 暖炉やヒーターなどの熱源の近くに製品を放置しないでください。暑い日には、車内に製品を放置しないでください。
3. 製品は乾燥した環境で保管してください。
4. バッテリーを過充電したり、使いすぎたりしないでください。さもなければ、バッテリーのコアに損傷を与えることになります。長い間製品を使用しない場合は、1ヶ月以内に少なくとも1回を充電してください。
5. 温度が高すぎるか、または低すぎる時製品を使用しないで下さい。

## 米国連邦通信委員会(FCC) 規制適合

この装置は、FCC規則のパート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に従ってください。:

- (1) このデバイスは、有害な干渉を引き起こしてはならない
- (2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れなければなりません

### NOTE

この装置は、FCC規則のパート15に従って、クラスBデジタルデバイスの制限に準拠することが試験により確認されています。これらの制限は、住宅での設置において有害な干渉から妥当に保護するように設計されています。

この装置は、無線周波エネルギーを発生させ、放射する可能性があり、指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置場所で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（装置の電源を切ったり入れたりすることで判断できます）、ユーザーは以下の手段のうちの1つまたは複数によって干渉を修正するよう試みるのが推奨されます。

- 受信アンテナの向きを変える、または位置を変える。
- 機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路にあるコンセントに機器を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者にご相談ください。

### NOTE

本機器に許可なく改変を加えたことによるラジオやテレビの電波障害について、製造者は責任を負いません。このような改変は、ユーザーがこの機器を操作する権限を無効にする可能性があります。

### RF Exposure

この装置は、制御されていない環境に対して設定されたFCC放射線暴露制限に適合しています。



Website



Facebook



Youtube



Twitter



Instagram

本書は、予告なく変更されることがあります。本書に関するお問い合わせは、以下の方法でお願いします。

製造販売元: Guilin Feiyu Technology Incorporated Company  
Website: [www.feiyu-tech.com](http://www.feiyu-tech.com)  
E-mail: [support@feiyu-tech.com](mailto:support@feiyu-tech.com)  
Tel: +86 773-2320865

